

SUNRISE II クルージング報告書

概 要					
タイトル		「5月連休・相模湾周遊クルージング」			
スキッパー		山本 昇	報告書作成日		2008年5月27日
期日		2008年5月3日(土)～6日(火)			
目的地		南房総・富崎(布良)港／大島・波浮港／東伊豆・稲取港			
参加費		21,000円：係留費、初日の夕食から帰港日の昼食までの全食事、その他の飲食、風呂、その他の雑費。			
参 加 者					
氏名		参加航程	ポジション	分担	備考
1	山本 昇	全航程参加	舵、ログ	購買、写真、会計、	クルージング計画書・報告書
2	野田 道隆	々	舵	乗合車、購買	
3	中川 威	々	舵、デッキ、アンカリング、ログ	装備品準備	紀行文
4	勝又 達彦	富崎で上船	デッキ、ログ	会計	*次回から会計
5	藤田 登功	富崎で下船			
6	三木 浩	富崎で下船	舵		
7	木村 宏司	稲取港から上船			
8	松田 尚子	稲取港から上船			体験参加
活 動 記 録					
日程／天候		準備・練習日			
	4月27日(日) 曇り	アンカーを使ってバウ付係留の練習、参加者の不足している知識、技術を補強、帰港後に「クルージング装備・買回り品チェックリスト」による装備の点検の積み込み。			
		到着地	航程		泊
1	5月3日(土) 曇り・風やや強し	富崎港	0700 乗合車サンシティー 0810 乗合車上野毛 0900 集合 0940 葉山マリーナ出港 1130 城ヶ島灯台沖通過 1430 富崎港入港、港奥左手にバウ付けアンカー係留 安房・自然村で入浴 ODAYAで買い物 1800 富鰯で夕食		船中
2	4日(日) 曇り・波悪し	波浮港	0600 起床 皆それぞれに洗面 0700 朝食 0820 出港 風はそれ程強くなかったが波悪し 大島近くでジブを#1から#3にチェンジ 1230 波浮港入港、右奥の漁協左手岸壁にバウ付けアンカー係留 鵜飼商店でコロケ買って昼食 1600 ホットセンター 1900 大関で夕食		船中
3	5日(月) 曇り後小雨・風は終日穏やか	稲取港	0700 起床 0800 朝食 0900 離岸、アンカーを引き揚げた時に弛ませたラインをラダーの裏に入れるトラブル 0920 出港 向かい汐強く大島離れるまで機帆走 1500 稲取港入港、右手の防波堤にバウ付けアンカー係留 みやこ湯 Yaohan 稲取店で買物 1800 徳造丸で夕食		船中 木村・松田は宿泊
4	6日(火) 快晴・風強し	帰港	0600 起床 0640 係留位置を外防波堤の岸壁に移動 0720 朝食 0820 離岸出港 イルカの歓迎を受ける 風は北東から徐々に東にシフト、午後は南東に 常時7～8ノットを超えて快走、追手でも風強くジブ#1～#3にチェンジ 1500 葉山マリーナ帰港 食事・装備解除・清掃 1700 解散		*****
備 考					
【総括】 ・出発前の天気予報は快晴続きであったが直前になって急転、出発前日から雨。全航程を通じて風は強めで、最終日のみ快晴であった。船酔いに苦しんだメンバーがいたが、それを除けば事故なく予定したコースをクルージングした。クルージング経験豊富な野田君が全航程でき、このクルージングに備えトレーニングを積んできた中川、勝又両君の頑張りのお陰です。ありがとうございました。紙面を借りてお礼を申し上げます。 ・経費は全航程参加で21,000円であった。共通参加費の5,000円は妥当、1日当り参加費は夕食のある1泊当りに変更して7,000円とするのが妥当なようである。今回、初日の富鰯で豪勢(1人≒6,300円)にやり過ぎたが、夕食は平均4,000円位が良いようだ。 ・反省点としては、係留地の潮汐の事前調査と係留時の測深を怠ったこと。稲取港は過去何度も係留しているが、予想以上に浅く、大干の時は「SUN RISE II」の喫水より浅くなり、危うくキールが底突きになりそ					

うだった。直前に事故なく回避できたのは幸運であった。

- ・もう一つの幸運は、最終日の稲取港出港直後にイルカの群れに歓迎を受けたこと。昔はクルージング中に遭遇するのはそれほど珍しいことではなかったが、最近は殆ど見かけなくなった。また、昔は大群がヨットの周りに寄ってきて、長いこと伴走して楽しませてくれたものだが、今回はあっさりとしたものだった。

【装備】

- ・オイルスキン：全員持参、ライフベスト：大半が自己膨張式ライフベスト、2名が桜マーク、ライフハーネス：山本以外はクラブ備品、デッキブーツ：山本、野田、中川が持参。クルージングを目指す者は必需備品にした方がよいと考える。
- ・船中泊にはシングが必要な時期で、野田、藤田は寝袋持参。寝袋は山本の寄託が2個、山川が1個、毛布は2枚が常備品となっている。

【クルージング技術】

- ・富崎港、波浮港、稲取港ともにバウ付けアンカリング係留であった。波浮港、稲取港ではオーナメントを使用した。
- ・揺れがひどく、海図への現在位置のプロットはせず。航海日誌への記録は行った。

【分担】

- ・出発前の装備の準備は中川、江積
- ・セーリング時は、〈舵〉三木、野田、山本、中川 〈デッキ〉中川、勝又、野田 〈記録〉中川、勝又、山本
- ・その他、〈装備〉中川 〈救急箱〉勝又 〈飲食品の買出し〉野田、勝又、山本 〈諸連絡・会計・写真〉山本
- ・買出し品は、岩谷のカセットボンベ×2、乾電池の単三×4、無洗米。

【港周辺の便利情報】

- ・富崎館は混雑シーズンは日帰り客の風呂利用は受けない。漁協のトイレは言っておけば夜間も解放してくれる。氷は200円で安い。港の公衆トイレを使えるようする計画あり。風呂は安房・自然村で利用できる。1人500円。港から歩いて10分。富崎の前を通って行くのが近道。
- ・波浮港は公衆トイレ数か所、ゴミ捨て可能、漁協の氷あり。500円で高い。ホットセンター、寿司屋の「大関」は送迎サービスがある。「鵜飼商店」のコロケは色々な種類があり、また、即席みそ汁、即席麺等、我々が必要とする食品を置いている。午後6時まで開店。漁協近くの裏通りに「寿司屋食堂」あり。次回利用してみたい。「素泊り民宿」もある。
- ・稲取港は港の周りに民宿、旅館があり、連休時でも空きがありそう。風が余程強くなければ外岸壁内側に係留しても安全そう。ここだと、近くに24時間公衆トイレあり。従来の係留場所より公衆浴場、徳蔵丸に近い。港に入って右側の岸壁は避けた方が賢明。係留の場合は必ず測深し、潮汐を調べる。大きなスーパーはYaohan 稲取店があるが、歩くと遠い。徳蔵丸裏手の銭湯は「みやこ湯」。

(文中、敬称略)

【中川威君の航海記】

「今年の5月連休クルージングは4日間に渡る相模湾周遊クルージングとなりました。初日の出港時にぱらぱらと雨に降られたものの、4日間を通して晴れか曇りのほどよい天候で、富崎から波浮にかけては海が荒れるも、全体的に非常によい風が吹いてくれたため予定を狂わされることもなく全員無事故でクルージングを終えることができました。

富崎から波浮にかけては船酔いに苦しんでいるだけの私でしたが、4日間を通して今まで練習してきたセーリング技術を試せたり、アンカリング等の初めての技術を学んだりとセーリングスキルもさらに高められたこともあり、このクルージングを終えた今は達成感と爽快感でいっぱいです。個人的には船酔いしやすい体質もあり子供の頃から船が苦手だったのにも関わらず、今回のように4日間もほとんど船の上で過ごし、さらに船の中で寝るなんて、今までの自分からは信じられないような体験でありました。やってやれないことはない、改めて私はこのヨットを始めてよかったと思います。しかも今回は稲取を出港したところでイルカの歓迎(?)を受けるといったイベントもあり、おいしい料理・おいしいお酒も加わって、クルージング+αの部分も大いに満喫することができました。海でイルカに会えるなんて夢にも思っていなかったのが非常に感動的です。もっと海もおだやかで暖かかったら飛び込んで一緒に泳ぐのもありという話を聞いたので、夏のクルージングではきっと彼らと一緒に泳げることを楽しみにしています。

今回のクルージングを通してヨットの魅力をさらに深く知ることができました。今後もさらに技術と知識を磨き、安全に爽やかに風を受けながらセーリングができるようになりたいと思います。」